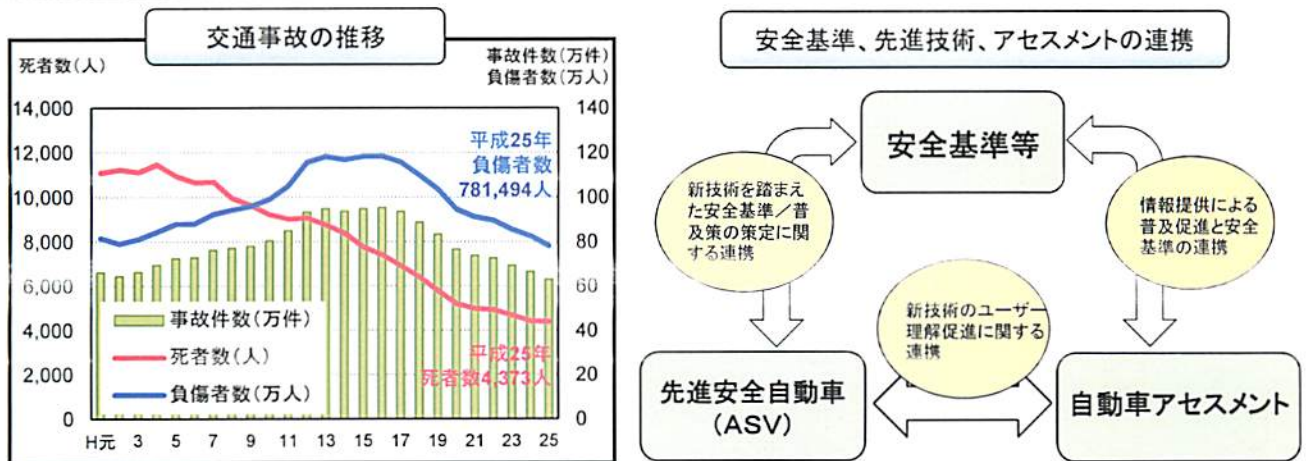


(2) 車両の安全対策

交通事故による死傷者数の一層の低減を目指すため、事故分析及び対策の効果評価を踏まえ、安全基準の拡充・強化、ASVプロジェクト、自動車アセスメントの連携を図りながら、車両安全対策を着実に実施する。



○安全基準の策定のための調査

(予算額:130百万円)

交通事故死者数削減の目標※を達成させるため、既存の車両安全対策の強化を図ることに加え、有効と考えられる追加的な車両安全対策の策定に関する検討・調査を行う。

※)交通政策審議会陸上交通分科会自動車交通部 報告書(平成23年6月)

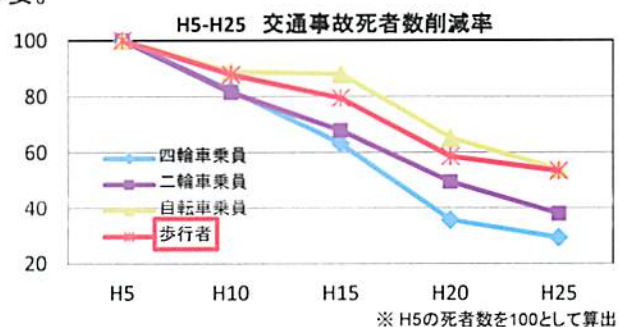
平成32年までに交通事故死者数を車両安全対策で1,000人削減(平成22年比)

●衝突時の歩行者保護基準等の拡充のための調査

自動車乗員に比べ、歩行者の死者数の減少は小幅であることから、更なる交通事故死者数の低減のためには衝突時の歩行者保護基準の強化が必要。



歩行者頭部保護試験



●有効な追加的な車両安全対策の基準化に関する調査(新規)

交通事故死者数削減の目標を達成するには、追加的な車両安全対策が不可欠。このため、特に効果が高いと考えられる新たな車両安全対策について、その義務化等に関する調査を実施する。

➤安全基準策定に向けた検討・調査

- 助手席・後部座席のシートベルト非装着警報装置
- オートライト(自動点灯装置)
- チャイルドシートの側面衝突基準(対象拡大) など



シートベルト非装着警報装置



オートライト(自動点灯装置)



チャイルドシートの側面衝突試験

○先進安全自動車(ASV)プロジェクトの推進

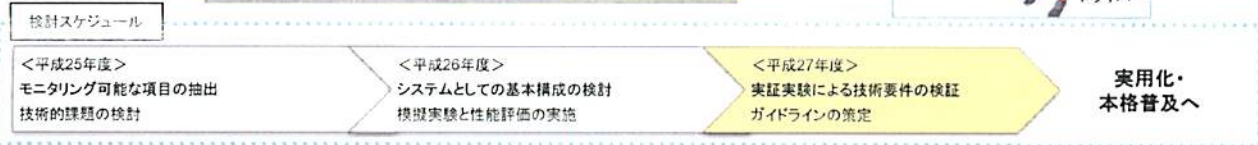
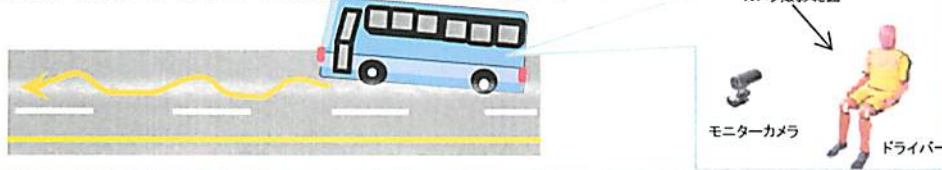
(予算額:110百万円)

産学官の連携を図り、ドライバーの安全運転を支援する先進安全自動車(ASV)の開発・実用化・普及を促進。

北陸道のバス事故やドライバーが運転中に失神するなどの事故を受け、ドライバーが運転不能に陥った場合に機能するシステム(ドライバー異常時対応システム)の実用化を目指し、実証実験による技術要件の検証及びガイドラインの策定を行う。

○ドライバー異常時対応システム

ドライバーの異常状態を検知して安全に自動車を自動停止するシステム



○自動車アセスメント事業

予算額： 独立行政法人自動車事故対策機構
運営費交付金6,658百万円の内数

自動車ユーザーがより安全な自動車やチャイルドシートを選択しやすくするとともに、自動車メーカー等により安全な製品の開発を促すため、自動車等の安全性能を調査し、公表する。

●自動車の安全性能評価の実施

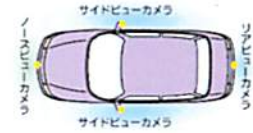
・各種衝突試験等を行い、自動車の安全性を総合的に評価。



・更なる交通事故死者数の削減を図るため、予防安全技術に関する評価を本格的に実施。



車両周辺視界情報提供装置等に関する評価を試行的に導入。



車両周辺視界情報提供装置等性能試験

●チャイルドシートの安全性能評価の実施

前面衝突時のチャイルドシートによる子供の保護性能を評価する試験(前面衝突試験)及びチャイルドシート取付の際、確実に取り付けられるように配慮されているかなどを評価する試験(使用性評価試験)を実施。

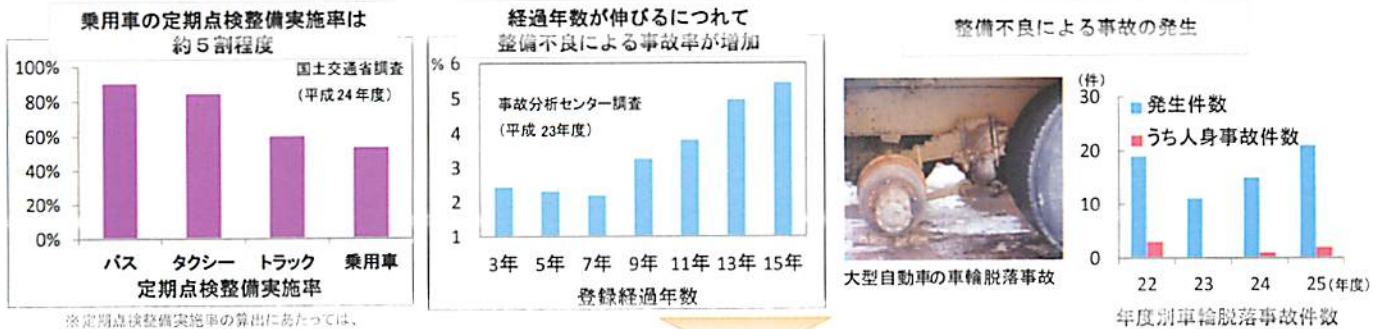
●安全性能を分かりやすく、比較しやすい形で公表

自動車アセスメント

チャイルドシートアセスメント

(3) 自動車の適切な保守管理の促進

自動車の点検整備が適切に行われ、車検が確実に受検されるよう「点検整備の促進」、「未認証工場対策」、「無車検車・無保険車対策の強化」を総合的に実施する。



○点検整備の促進

(予算額: 97百万円)

○点検整備に係る指導の履歴を自動車検査証に記載

自動車検査証

項目	内容
○年○月○日指導	
△年△月△日指導	

○自動車点検整備推進運動

- 点検整備前に検査を受検したユーザーにははがき等で点検整備を啓発
- 定期点検の実施前に検査を受検した事業者には点検実施状況の立入調査
- 整備不良に起因する事故・故障についての分析
- 特徴的な事例に関する効果的な点検整備や保守管理の啓発
- 点検整備実施率を更に向上するための手法を調査検討

○未認証工場対策

(予算額: 20百万円)

悪質な未認証工場が起こす問題

- ・認証を受けずに安全上重要なエンジン、ブレーキ等を取り外して分解整備を行うため、安全の確保に重大な支障
- ・実際には分解整備を行っていないのにユーザーに分解整備を実施したと誤認させ、悪質な場合はその料金を請求

情報収集体制の強化

車検代行業者の利用者にハガキを送付し、サービス内容や違法行為等の情報を収集。あわせて、自動車ユーザーを啓発。

立入調査・指導

収集情報を活用し、未認証工場への取り締まりを強化する。



○無車検車・無保険車対策の強化

(予算額: 101百万円)

○ハガキ送付による早期是正の促進



- ・MOTAS情報や保険加入状況管理データにより無車検車・無保険車を抽出
- ・無車検車・無保険車の利用者に対し、ハガキを送付し、車両の使用状況等についての説明を回答するよう要求
- ・回答のない者については再度督促状を発送

○ナンバー自動読取装置・カメラの活用



ナンバー自動読取装置・カメラを路上に設置し、読み取ったナンバーをMOTAS情報や保険加入状況管理データと突合し、無車検車・無保険車を捕捉

○警察・指導員等と協力した無車検車・無保険車の把握

- ・駐車監視員・指導員等より報告された無車検・無保険の疑いのあるユーザーに対し、ハガキによる注意喚起を実施
- ・警察と協力して、街頭で無車検車・無保険車の取締りを実施